

ゆいちゃん シリタガリノ!!

頭のぶつぶつはなあに 星木レイ



浄土宗コドモタイムズ

第45号

発行
浄土宗児童教化連盟

発行人
辻本 良明
〒857-0851
佐世保市稲荷町19番
10号 善隣寺内
TEL 0956-33-3334
FAX 0956-33-3338

いちごんせつぽう
一言説法

「まず自分が良い友だちになろう」

お経の中に、

「これほど大きな得になるものを知らない。それが友のよいところである」

とあります。

また寿命を伸ばすものの一つとして、「良い友だち」が挙げられています。お釈迦さまの時代のころも、友だちが大切な存在だったのですね。

みなさんにも友だちがいると思います。

中には、自分だけがその人のことを友人と思っているだけなんじゃないだろうか、と不安になることはありませんか。相手が同じように、良いともだちと思ってくれているかどうかかわからないことがあります。

良い友人を作ろうと思えば、まず自分が、相手にとって良いともだちとなることが大切ではないでしょうか。だれにも長所や短所があります。良き友というのは、思いやりの心でお互いの短所をカバーし合い、お互いの長所を認め合う間がらだと思えます。そんな友だちは何にもまして大きな得となるでしょう。

まず自分が良いともだちになるということ、少しずつでいいですから心がけてみてください。



質問
お寺は、お葬式やご先祖さまの供養をするところだと思っていました。が、結婚式もできるって本当ですか？ (中三 女子)

答え
結婚式といえ、神社で行う神前式や教会でのキリスト教式が広く知られています。仏さまの前で行う仏前結婚式というものがあります。

古いお話に基づいた「行華（あんげ）」という、花を捧げる儀式を中心に、仏さまの前で、共に「明るく・正しく・仲よく」生活することをお誓いします。仏教徒として数珠が授与されるほか、指輪の交換なども行うことができます。

質問
梵天様は、神様ですか？ 仏様ですか？ (小六 太郎)

答え
太郎「この前、僕の地区で、梵天様のお祭りがあって、子供神輿を担ぎました。そのとき思ったんだけど、梵天様は、神様？ 仏様？ どっちなんだろう？」

住職「お神輿、たいへんだったね。梵天様のお祭りは、田んぼや、畑が豊作になるように、浄土宗総本山知恩院では、宗教や宗派を問わず、だれでも申し込むことができます。」

今年も皆が無事に暮らせるようにと、梵天様にお願いをするお祭りなんですよ。」

太郎「そうなんだ。知らなかった。」

住職「梵天様は、仏様を守る神様の一人ですね、もともとはインドの神様なんですよ。」

太郎「日本の神様じゃないの？ 仏様を守る神様って、どういうこと？」

住職「昔々、お釈迦様がインドで、たくさんさんの修行をされて、悟りを開かれました。その時にお釈迦様は、『この悟りの内容は、すばらしいものだから、みんなに伝えたいけど、すぐく難しい教えだから、みんなが間違っ覚えてしまったり、大変なことになってしまう。ならば、誰にも伝えないうが、正しい理解する人もいらずです。どうか皆にお話をして下さい』お釈迦様はこの梵天様のお考えを聞いて、悟りの内容をお話しする決心をし、たくさんの人たちに、このすばらしい教えである仏教を広めることができました。これを、梵天様が勧めてお願いしたことから、梵天勧請（ぼんてんかんじょう）と呼んでいます。」

太郎「じゃあ、今、仏教があるのは、梵天様のおかげだね。」

住職「そうかもしれないね。それ以来、梵天様は仏様を守る神様とられたのですよ。」

今年も皆が無事に暮らせるようにと、梵天様にお願いをするお祭りなんですよ。」

太郎「そうなんだ。知らなかった。」

住職「梵天様は、仏様を守る神様の一人ですね、もともとはインドの神様なんですよ。」

太郎「日本の神様じゃないの？ 仏様を守る神様って、どういうこと？」

住職「昔々、お釈迦様がインドで、たくさんさんの修行をされて、悟りを開かれました。その時にお釈迦様は、『この悟りの内容は、すばらしいものだから、みんなに伝えたいけど、すぐく難しい教えだから、みんなが間違っ覚えてしまったり、大変なことになってしまう。ならば、誰にも伝えないうが、正しい理解する人もいらずです。どうか皆にお話をして下さい』お釈迦様はこの梵天様のお考えを聞いて、悟りの内容をお話しする決心をし、たくさんの人たちに、このすばらしい教えである仏教を広めることができました。これを、梵天様が勧めてお願いしたことから、梵天勧請（ぼんてんかんじょう）と呼んでいます。」

太郎「じゃあ、今、仏教があるのは、梵天様のおかげだね。」

住職「そうかもしれないね。それ以来、梵天様は仏様を守る神様とられたのですよ。」

仏さまの 持ち物

「蓮台」



きょう かんのおんぼささま
今日は観音菩薩様が、手にお持ちに
なっている蓮台（れんだい）について
のお話です。

はす たね ぶぶん だいざ
蓮の種ができる部分を台座のように
高くなっている事から蓮台と呼びます。
また、蓮の種が落ちると、種があつた
ぶぶん あな あ 部分に穴が開きますが、この様子（ようす）がハ
チの巣（す）に似ているので、昔（むかし）から蓮の事

を「はちす」といい、台のことを「う
てな」ということから、蓮台を「はち
すのうてな」とも呼びます。

あみださま すま くにし さいほうごくらくじょう
阿弥陀様がお住いの国、西方極樂浄
土にある池には、色とりどりの大きな
蓮の花（はな）が咲いています。観音様はこの
蓮の花、蓮台を両手で支えるようにお
持ちになっているのです。なぜ、蓮を
お持ちになっているのかというと、こ
の蓮には大切な役割があるからです。

ねんぶつ いっしょうけんめい とこな ひと
お念仏を一生懸命お称えになった人
は、亡くなるときに、阿弥陀様がたく
さんの菩薩様を連れて、お迎えに来て
くれます。これを来迎（らいこう）といいます。こ
の時に観音様も一緒におでましになり、

て も れんだい な かた
手に持った蓮台に亡くなった方を乗せ
て西方極樂浄土にお連れ下さるのです。

てら ほんどう かんのおんさま ぞう
お寺の本堂とかで、観音様のお像を
拝む事があれば、よく見て下さい。手
にはしっかりと蓮を持ち、足を一歩前
に出しています。これは亡くなられた
方（かた）を迎え（むか）に来られている、ありがたい
お姿（すがた）を表わしているのです。



これも仏教の言葉だよ！

ダルマ

ダルマといえば赤色の張子で作られた人形、置物ですね。普通のダルマには目があります、選挙などでは、目の部分をあけておき、当選したときに目を書き入れるという習慣があります。

また雪だるま・だるま落とし・だるまさんがころんだ：など身近にダルマが存在します。ではダルマとは何なのでしょう。

ダルマは漢字で達磨と書き、実在のお坊さんです。達磨は菩提達磨といい、インド出身で、六世紀中ごろに中国に禅を伝えるにやってきました。（達磨大師と呼ばれました）

ダルマの人形は座った姿で、手も足もありません。これには理由があります。

達磨大師は洛陽の少林寺というお寺で、年間壁に向って座禅という修行で座り続けた結果、手も足も無くなってしまったという伝説から、手足の無い置物が作られたようです。



ちがいがし

みんなよう
考えよう



前回の答え

今回のちがいがしは「秋がテーマ」。

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてください。

しめきりは11月30日です。

送り先

〒857-0851

佐世保市稲荷町19番10号

善隣寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334

FAX 0956-333-3338

お知らせ

◆みなさんからの記事 wait しています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait しています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◆送り先は 〒857-0851 佐世保市稲荷町19番10号 善隣寺内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334 FAX 0956-333-3338

感想もいっしょに書いてください。

ぶくぶく編集室

占いて信じ



ますか。いろいろな占いがありませんね。手相・星占い・血液型占い・タロット占い・夢占い・人相占い・誕生日占い・おみくじなどなど。

うらないの「うら」は心のこととす。心は表には出てこない内面であるので「うら」裏と呼ばれました。「うらさびしい」心がさびしい。「うらやましい」心がやましい」という言葉もあります。

うらないの「ない」は一説には「合う」ということ。占ったことが当る「心に合う、から来ている」といいます。つまり、「うらに合う」うらに合い「うらない」と変化したということです。占ったことが当る、心に合うこと：うれしいことはいいですね。いい気分になります。反対によくないことや不幸なこと占われると、おもしろくないです。

あまり一喜一憂（少しのこと）で喜んだり、不安になったりすること）しないで、自分にとって占いの良い結果だけを入れておいたらどうでしょうか。